

コメント：32mm=90.4 pt 空ける

# 和文タイトル

—第2報：日本語副題—

コメント：明朝 16 pt

English Title of the Paper

コメント：Times 太字 12 pt

—2nd Report: English Sub-Title—

コメント：Times 太字 12 pt

※Translated paper [Original: Trans. JSRAE, Vol.○, No.○, pp.○-○, (2○○○)]

コメント：Times 太字 10 pt

山田太郎\* 川上次郎\*\* 山川三郎†

コメント：明朝 12 pt

Taro YAMADA Jiro KAWAKAMI Saburo YAMAKAWA

コメント：Times 12 pt

\* 東京大学工学部機械工学科 (113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1)

Department of Mechanical Engineering, Faculty of Engineering, The University of Tokyo  
(7-3-1Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0033)

\*\* 東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻 (113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1)

Institute of Environmental Studies, Graduate School of Frontier Science, The University of  
Tokyo (7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0033)

コメント：明朝/Times 10 pt

## Summary

コメント：Times 太字 11 pt

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.

コメント：150~200 字程度, 半角 2 文字分インデント, Times 10 pt

Key words: Heat transfer, Thermal storage, Evaporation, Condensation, Refrigeration

コメント：Times 太字 10 pt

## 1. 緒言

考にしてください。

本テンプレートは Microsoft Word を用いて、日本冷凍空調学会論文集に投稿する論文原稿を作成するためのものです。本テンプレート書式設定等を利用して原稿を作成されることをお勧めします。詳細は「執筆要綱 3. 執筆規定」を参

原稿用紙は A4(縦 297 mm 横 210 mm)とし、左右の余白は 24 mm, 上下の余白はそれぞれ 30 mm, 27 mm です。本文は 2 段組み(間隔 12 mm)として、1 ページの行数は 44 行(行間隔を 15.4 pt にする)、1 行の字数は全角 21 文字として下さい。本文のフォントは明朝体 10 pt, 英文は

コメント：5~8 語程度, Times 10 pt

コメント：センタリング, 明朝 /Times 11 pt

†Fax:+81 3-3456-7890 E-mail:Corresponding@reito.or.jp

Paper presented at Conference Name, Month Day1-Day2, Year, City, Country

Times New Roman 10pt を使用してください。章の前後などの空白行は特に指定がない限り 15.4 pt です。詳細は、本テンプレートファイルの段落・余白設定を参照してください。

論文タイトルは、先頭ページのトップから 32 mm (= 90.4 pt) 空け、和文タイトルを明朝 20 pt で表記してください。必要であれば副題をつけることができ、明朝 16 pt で表記します。続いて、タイトルの英訳を、主題・副題ともに 12 pt の Times New Roman 太字で表記してください。

次に、タイトルの下を 1 行空け、著者リストを記入します。和文・英文表記ともに 12 pt です。著者名の後ろに\*や†等の上付きの引用記号を付け、著者リストのあと 1 行空けて著者の所属を記入してください。所属は和文・英文両方で表記し、つづけて郵便番号および住所を () 内に記入します。さらに、連絡先となる著者については、FAX 番号および Email アドレスを先頭ページ左下フッター部分に記載してください。論文が年次大会等で発表されたものである場合は、テンプレートの様式に従い会議名や開催日時・場所をフッター部分に記載してください。

英文原稿の場合、タイトル・著者リストおよび所属に関する和文表記は不要です。

要約は著者リストのあと 1 行あけて記述します。Times New Roman 太字 11 pt で“Summary”と記入して改行し、半角 2 文字分インデントして英文アブストラクトを記述します。要約中では文献引用や、別行立ての数式は避けてください。要約の下に 1 行空けて、Times New Roman 10 pt 太字で“Key words: ”と記入し、続けて 5~8 語程度のキーワードを英語で記入してください。

## 記号

<i>A</i>	表面積	mm <sup>2</sup>
<i>d</i>	直径	mm
<i>h</i>	比エンタルピー	kJ·kg <sup>-1</sup>
<i>p</i>	圧力	Pa
<i>s</i>	比エントロピー	kJ·kg <sup>-1</sup> ·K <sup>-1</sup>
<i>Re</i>	レイノルズ数	-
<i>T</i>	温度	K
<i>x</i>	乾き度	-

## ギリシャ記号

$\eta$	粘性係数	Pa·s
$\lambda$	熱伝導率	W·m <sup>-1</sup> ·K <sup>-1</sup>
$\rho$	密度	kg·m <sup>-3</sup>
$\sigma$	表面張力	N·m <sup>-1</sup>
添字		
ave	算術平均	
c	臨界点	
cal	計算値	
ev	蒸発器	
exp	実験値	
'	飽和液体	
"	飽和蒸気	

## 2. 章見出し

### 2.1 節見出し

章見出しは 11 pt で表記し、前後 1 行を空けてください。

#### 2.1.1 項見出し

節および項見出しは本文と同じ 10 pt で表記します。

(a) 小見出し □□ 小見出しの後に 2 文字分のスペースをあけて本文を書き出してください。

コメント：明朝/Times 10 pt  
番号の後に全角スペース 1 文字分を空けて節見出しを書く

コメント：明朝/Times 10 pt

コメント：明朝/Times 10 pt, 改行なし, 全角スペース 2 文字分空けて書き始める

## 3. 数式

別行立ての数式は、段落の前後に 0.5 行分の間隔 (7.7 pt) を空けてください。

$$e_1 = \frac{P}{\rho_L} + \frac{u_L^2}{2} + gz \quad (1)$$

$$E = e_g W_g + e_L W_L \quad (2)$$

上の例のように、行左端から全角 2 文字分のインデントの後に挿入し、(1), (2), (3) のように通し番号を行右端に配置します。本文中で引用するときは式 (1), 式 (2), 式 (1) - (3) のようにしてください。英文原稿の場合は Eq. (1), Eqs. (1) and (2), Eqs. (1) - (3) のように記載します。

コメント：7.7 pt 空行

コメント：7.7 pt 空行

記号が多い場合は、緒言の後に記号表を付けてください。記号表の体裁は本テンプレートを参考にしてください。

#### 4. 図表

図（写真も含む）を掲載する場合は、図の下に 10 pt の行間隔を開けて見出しを記入してください。表の場合、見出しは 10 pt の空行を挟んで表の上に記入します。例を以下の図 1 および表 1 に示します。

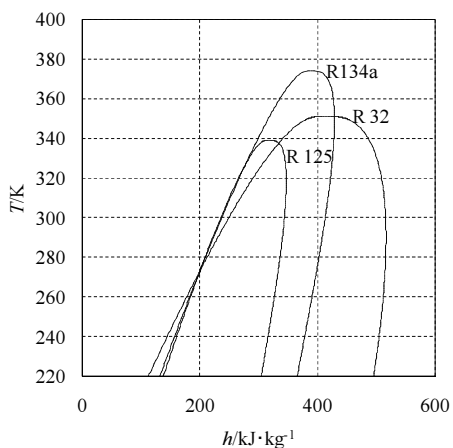


Fig.1 Temperature-enthalpy diagram of R 32, R 125 and R134a.

Table 1 Molar masses, standard boiling points and critical temperatures of the refrigerants

Refrigerant	$M$ g·mol <sup>-1</sup>	$T_b$ K	$T_c$ K
R 10	153.822	349.88	556.36
R 11	137.367	296.89	471.16
R 12	120.913	243.364	384.98
R 13	104.459	193.21	301.87
R 14	88.004	145.11	227.61
R 20	119.377	334.28	536.36
R 21	102.922	282.1	451.56
R 22	86.468	232.34	369.3
R 23	70.014	191	299

図表の中の文字は見やすい大きさにするよう心がけてください。およそ 9 pt 以上が目安です。上の例のように、図表の見出しには、Fig. 1, Figs. 1-3, Table 1 のように通し番号を付け、全角 1 文字分を空けて英文の見出しを記載してください。10 pt の Times New Roman を使用し、最初の単語の頭文字のみ大文字とします。

#### 5. 文献引用

本文中で文献を参照するときは、例<sup>1)</sup>、例<sup>2-4)</sup>のように上付きの番号を順番にふってください。文献リストの書式は、執筆規定に従ってください。

#### 文献

- 1) 田中太郎: 冷空論, **26** (1), 42 (2009).
- 2) T. Tanaka: Refrigeration, **71**(830), 42(1996). (in Japanese)
- 3) G. Lorentzen and T. Gac: Int. J. Refrig., **6**(5), 289(1984).
- 4) 田中太郎:「冷凍機」, pp. 40-42, 日本出版, 東京 (1996).
- 5) 田中太郎:「空気調和」, 3 巻, 第 2 版 (伊藤次郎編), pp. 50-53, 空調書籍, 大阪(1996).
- 6) F. Franks: “Effects of Low - temperatures on Biological Membranes”, (ed. by G. J. Morris and A. Clarke), pp. 3-19, Academic Press, London (1991).
- 7) J. H. Wilkinson (守屋寛, 吉田光孝, 藤本光男 訳):「低温微生物」, pp. 60-65, 丸善, 東京 (1953).
- 8) M. J. P. Jansen, F. L. M. Engels and L. J. M. Kuijpers: Proc. 19th Int. Cong. Refrig., Vol. IVb, pp. 860-867, The Hague, The Netherlands (1995).
- 9) 冷凍太郎, 空調花子:平成 15 年度冷空講論, pp. 1-4, 東京 (2003).
- 10) 技術資料名:発行会社名, (発行年).
- 11) Web サイト URL: (引用年).

コメント: 10 pt 空行

コメント: Times 10 pt

コメント: Times 10 pt

コメント: 10 pt 空行